

(トピック型) プログラム 活動(ユニット)案 「時間割1・2」

プログラム名 : トピック型日本語プログラム	
授業名	時間割1・2
対象児童・生徒	() 小低 (○) 小中 (◎) 小高 () 中学生 ◎ : 主な対象 ○ 対象
時間	(25) 分 × (2) 回
形態	(○) 少人数グループ () 個別指導
日本語の力 (ことばの力のものさしで)	・身近な物や出来事についての簡潔な質問に、主に単語で答えることができる。(聞く・話す) ・ひらがなを概ね読んだり、書いたりすることができる。(読む・書く)
	[聞く・話す] ステップ1 [読む] ステップ1 [書く] ステップ1 [聞く・話す] ステージC [読む] ステージC [書く] ステージC
目標 (Can-do)	・教科名を知り、時間割を確認して、教科書を準備することができる。
既習事項	数(1~10)、今日・昨日・明日、曜日の言い方、勉強する、何
語彙・表現	語彙 (太字を目標とし、他は紹介程度とする) 国語、算数、社会、理科 、外国語活動、音楽、図工、体育、家庭、道徳、書写、総合、学活 教科書、ノート 時間割、1時間目、2時間目…
	表現 ・日本語で ・何ですか ・(教科名) です ・～を勉強します ・～曜日の～時間目
コア日本語 (文型・文法/語彙)	・名詞文 肯定文/疑問文 「～は(名詞)です。」 「～は(名詞)ですか。」 ・示す助詞「の」 「(名詞)の(名詞)」 ・示す助詞「で」 「(日本語)で」
	教科名 時程の表現(○時間目)
主な活動	学習活動
	学習方略
実施上の留意点	1回目 教科名を知り、教科書を見て教科名を言う。教科名カードでかるたをする。
	2回目 時間割を読む。明日の授業の教科書の準備をする。
アイデア	・教科書の表紙の絵図と頭文字を組み合わせて覚える。 ・時間割のマスの色と教科書の色を対応させて学ぶ。 ・教科名と教科書・ノート等の道具をセットにして教科のイメージを作り、動作とシンクロさせて学ぶ。
	・教科名の語は数が多いので、理解の状況に応じ、頻度の高い主要教科を中心に扱う。それ以外は在籍学級でその授業がある前に教える等の配慮をする。 ・母語話者の支援者がいる場合は、教科の内容について説明してもらう。
アイデア	<児童生徒の多様性への対応> ・発話に積極的な児童であれば、質問と応答(Q&A)練習やかるたゲームで、質問する役割を与える。 ・時間割の見方等が円滑にできる場合には、自分で時間割を作って、それについて質問し合う活動などもできる。
	<他のプログラム・教科との関連> 文字学習の進捗によっては、時間割に主要科目名を書き込む活動を加えてもよい。 口頭でのコミュニケーションができるようになった(ステップ3~4)段階で、出身国の学校紹介の一部として、時間割や学習内容をポスター発表する(書く技能・話す技能)活動等に関連付けることができる。

◎教材のヒント 教科内容について書かれた翻訳資料

・愛知教育大学 外国人児童生徒支援 日本語リソースルーム作成

『小学校ガイドブック』学習についてP13~20

(中国語・ポルトガル語・スペイン語・タガログ語、英語・ベトナム語)

(<https://resource-room.nihongo.aichi-edu.ac.jp/about/guidebook/>)

・各地の教育委員会作成の「入学ガイドブック」の中にも、翻訳文書が掲載されていることがあります。文部科学省「かすたねっと」で調べることができます。

(<https://casta-net.mext.go.jp/>)

活動案 【時間割1】

本時の目標 教科名を聞いてどの教科か判別して教科書を選んだり、教科名カードや教科書を見て教科名を言うことができる。(聞く・話す・教科名の文字列の読み)			
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
5分	導入 1 教科書を見て、教科名を知る。 教科名：国語、算数、社会、理科、 (外国語活動、音楽、図工、体育、家庭、道徳)	T: (並べた教科書を示しながら) 勉強、勉強します。(教科書を1冊取り上げ、中を見せながら) ブラジル ある?ない? S:ある。 T:何の勉強? S:(母語で教科名を言う) T:日本語で 算数です。 他の教科でも同様の活動を行う	○教科書と教科内容について書かれている翻訳資料 ◇出身国での学習経験から教科名を想像させる。 ◇国によって学ばない教科もある。その場合、学習内容を知らせるため、翻訳文書等で確認する。 T:フィリピンにこれある? S:ない。 T:(説明部分を読むよう促す)。 S:Aralin mula sa ikalimang baitang pataas. Pag-aaral sa pagluluto, pananahi sa kamay o makina at mga pang-arawang gawaing-bahay. . . . T:日本語で家庭です。
10分	展開 2 教科名を知り、聞く、話す。 ・教科名を聞いて教科書を指さす。 ・教科書を見て教科名を発話する。 3 「教科の教科書／ノート」を聞く・話す。 ・教科書とノートを聞き分ける。 ・何の教科の教科書・ノートかを発話する 4 教科名カードでカルタをする。 ・聞いて取る ・見て言う	T:理科はどれですか。 S:(指さす) これ T:これは何ですか。 S:理科! T:理科の教科書／ノートはどれですか。 S:(指さす) これ T:(教科書・ノートを指さし) これは何ですか。 S:理科の教科書! T:算数の教科書はどれですか。 S:これ。 T:これは何ですか? S:理科のノート。	○教科書 ノート (実物) ◇理解 (インプット) →産出 (アウトプット) の順に練習をする。教科名を聞いて判別 (指さし) →教科書 (文字) を見て発話 ◇すぐに「(教科) の (教科書／ノート)」と言えない場合は、次のように段階的に発話を促す T:これは何ですか? S:ノート T:何のノートですか? (国語のノート?算数のノート?) S:算数のノート! ○教科名カード ◇聞いてカードを取る (理解) と、言えたらカードをもちる (産出) ゲーム。カード数で勝敗を決める。
5分	まとめ 5 時間割を見て今日の授業について確認する。	T:今日の勉強です。(時間割を指して) 何ですか。 S:国語、算数、理科、… (言えない場合は、教科名カードを指してもよい) T:そうですね。体育ですね。	◇児童の在籍学級の時間割で教科名を確認し、時間割を利用できるようにする。 ◇覚えていない教科名は、カードの指差し等の方法で表わさせた上で、教師から教科名を聞かせる。
評価対象と方法		活動3のパフォーマンス 教科名・～の～を聞いて、教科名、教科書かノートを判別して選べたか。 活動5 時間割を見て、教科名を言えたか。	



活動案 【時間割 2】

本時の目標 時間割を読み取って、教科書やノート等を準備することができる。(読む)			
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援・留意点
5分	導入 1 教科名を確認する (復習) 教科名カードを見て教科名を言う	T: これは何ですか。 S: 国語、算数、社会、理科 (外国語活動、音楽、図工、体育、家庭、道徳、特活、総合)	○教科名カード ◇児童の理解の状況に応じて、語彙数を調整する。
15分	展開 2 時間割の見方を知り、読み取れることを発話する。 ・時間割の横軸 (曜日) と縦軸 (時間目) を確認し練習する (リピート)。 ・時間割を見て、「～曜日の～時間目は、～です」を練習する (リピート)。 3 時間割で何曜日の何時間目に何の教科があるのかを読み取る。 (Q&A 練習) 4 クラスの時間割を読み取り、質問に応える。	T: (時間割を指し示して) これは、時間割です。 S: 時間割 T: 月曜日/火・水・木… 1時間目/2・3…。 ○曜日の○時間目… S: (リピート) T: 月曜日の1時間目は英語です。 S: (リピート) T: 月曜日の1時間目は何ですか。 S: 英語! T: (板書を指さし) 月曜日の～ S: 月曜日の1時間目は英語です。 T: ○年○組の時間割です。火曜日、何を勉強しますか。1時間目は…2時間目は…。 S: 1時間目は算数です。2時間目は音楽です。	○文字カード (時間割/○曜日/○時間目) ◇「4時間目」を「よんじかんめ」と読まない等、明示的に伝え、数字の読みを意識させる。 ◇文型を板書して、文の構造を示す。 () 曜日の () 時間目は () です。 ◇児童が科目を入れ替えて時間割を作って利用する等、子ども自身が利用する教材を作れるような工夫ができるとなおよい。 ◇単語で答える児童には、もう一度問う、文頭を聞かせて文での発話を促す (文型を指しながら)。 ○在籍学級の時間割表 (平仮名ルビ付き) ◇自力で難しければ、「1時間目は…」等、聞かせて引き出したり、一旦言わせたあと、文に整えて聞かせて、リピートさせる。
5分	まとめ 5 明日の時間割を読み取り、使う教科書とノートをランドセルに入れる。	T: 明日、何を勉強しますか。 S: 国語。 T: 1時間目は国語ですね。2時間目は何を勉強しますか? S: 2時間目は算数です。… T: 本 (教科書) をランドセルに入れてください。 S: はい。(教科書をランドセルに入れる)	○教科書、ドリル等、ランドセル (カバン) の実物 可能ならば、計算ドリルや地図帳なども加えてもよい。 ◇ジェスチャー (ランドセルに入れる動作) を伴わせて指示する。
評価対象と方法		活動3 時間割に関する質問に、時間割を読み取り、○曜日の○時間目は (教科名) ですので、答えられたか。 活動5 時間割を見て、明日の準備ができたか。	